

# 施策評価シート（平成28年度実績評価）

## ◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	5-1	政策名	効率的・効果的な行政運営	政策の 目指す姿	満足度の高い行政サービスを提供しています	施策 主管課	秘書政策課	施策主管 課長名	伊藤 昌俊
	施策No.	3	施策名	わかりやすい市政情報の提供	施策の 目指す姿	タイムリーでわかりやすい市政情報を提供しています	関係課名	東和総合支所 地域振興課		
	現状と課題	・広報やインターネット、コミュニティFMなどの媒体を効果的に活用し、市政情報を発信してきましたが、さらに迅速・正確に情報が伝わるよう、若者、高齢者、都市部、山間部など、年齢層や生活形態にあわせていく必要があります。								

## 1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組実績

(1) 市政情報の発信強化 ・「広報はなまき」やホームページの充実 毎月1日(1月を除く)・15日に広報はなまき発行 市ホームページのアクセス数 H28 2,469千件、H27 2,200千件 アプリで広報はなまき・花日和にアクセスできる「マチイロ」のH29年3月末登録者数714人(H28年4月からサービス提供)  ・コミュニティFMや様々なメディアによる情報発信 コミュニティFMによる行政情報発信 花巻ケーブルテレビによる市政情報の発信(映像データの制作委託) 東和地域有線放送による市政情報発信・施設維持管理 フェイスブックやツイッターによる市政情報発信 FBリーチ数 H28 1,065千件、H27 690千件 定例記者会見、市政懇談会での市政情報発信
--

## 2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
					目標値					
実績値										
目標値										
実績値										
目標値										
実績値										
目標値										
実績値										

## 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因

#### 4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	
	事業内容(実績)		直結度	成果
1-1	広報活動充実事業	秘書政策課	A	B
	広報はなまき、コミュニティFM、市ホームページ、はなまきケーブルテレビのほか、フェイスブック、ツイッター等のSNSサービスを活用した市民への行政情報の提供			
1-2	広報活動充実事業	東和総合支所	A	B
	東和地域における有線放送による情報の発信			
2	花日和発行事業	秘書政策課	B	C
	花巻ブランドデザイン情報誌「花日和」による情報の発信			

#### 5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)  
なし

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

・市民アンケート「市役所からの情報提供がタイムリーで分かりやすい」割合は、H28 62.5%、H27 62.9%、H26 61.1%、H25 59.4%となっており、概ね向上してきているが、より一層、タイムリーで分かりやすい情報を「目立つように」発信していく必要がある。  
 ・市HPの年間アクセス件数は、H28 2,469千件、H27 2,200千件、H26 1,783千件と伸びている。今後も、広報推進員を通じて積極的かつタイムリーなHP掲載を実施していく。  
 ・フェイスブックのリーチ数はH28 1,065千件、H27 690千件、H26年 34千件(H26年10月～)とスマートフォンの普及も相まって順調に伸びている。また、広報はなまきと花日和をWebで閲覧できるアプリ「マチイロ」について、H28年4月から導入したところ、714人の方がアプリを登録している。これらの媒体は、これまで市の情報を直接若い世代に届けることができることから、有用なツールと考えられる。今後とも、積極的に市政に関する情報の発信に努めていく。

(新たに取り組むべき事業はないか)

なし

#### 6 施策の総合的な評価

(課題)

・情報発信については、多くの媒体を用いて積極的な発信を行っているが、市民全体に情報を届けることは難しい。  
 ・市が持っている情報提供媒体のほか、定例記者会見や記者クラブへの投げ込みなど、マスコミを有効に活用することが必要である。  
 ・現行の市ホームページのシステムが、H31年にリニアアップとなることから、ホームページリニューアルを図る必要がある。

(今後の方向性)

・紙媒体の広報はなまきにおいては、イベントやお知らせに加え、市が取り組んでいる課題などを市民の方々にお知らせしていく。  
 ・主として若い世代をターゲットとして、市ホームページ掲載記事の充実、SNSの一層の活用を図るほか、マチイロの周知も図っていく。  
 ・コミュニティFMの「こちら市役所情報局」において、定例記者会見で取り上げた項目や広報はなまきのトップ記事などを取り上げていく。  
 ・市ホームページリニューアルに向け、市民の意見を聞きながら、次期ホームページの目指す姿を検討し、取りまとめを行う。